

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

会社名 株式会社 沖縄海邦銀行 上場取引所 ー
 コード番号 ー URL https:// www.kaiho-bank.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 新城 一史
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 高良 彦行 (TEL)098(867)2112
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,277	△2.9	894	1.6	689	9.0
2024年3月期第1四半期	3,378	9.8	879	104.0	632	80.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △1,075百万円 (△179.8%) 2024年3月期第1四半期 1,346百万円 (298.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2025年3月期第1四半期	円 銭 203 35	円 銭 ー
2024年3月期第1四半期	186 40	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	782,180	42,876	5.4
2024年3月期	788,355	44,121	5.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 42,839百万円 2024年3月期 44,083百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	25.00	ー	50.00	75.00
2025年3月期	ー				
2025年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	810	△23.1	570	△14.6	168	04
通期	1,770	△13.3	1,240	△3.6	365	57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有・無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期1Q	3,400,000株	2024年3月期	3,400,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	8,393株	2024年3月期	8,303株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期1Q	3,391,652株	2024年3月期1Q	3,392,065株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有（義務）・有（任意）・無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
3. 補足情報	6
(1) 損益の概況【単体】	6
(2) 預金・貸出金等の状況【単体】	8
①預金、②預かり資産	8
③貸出金	9
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】	10
(4) 時価のある有価証券の評価差額【単体】	10

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年6月30日)の経営成績について、経常収益は、貸出金利息および有価証券利息配当金は増加しましたが、その他経常収益の減少などによって、前年同期比1億1百万円減少の32億77百万円となりました。

一方、経常費用は、営業経費が減少したことなどから、前年同期比1億15百万円減少の23億83百万円となりました。

これにより、経常利益は、前年同期比14百万円増加の8億94百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比57百万円増加の6億89百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末(2024年6月30日)の財政状態について、総資産は、前連結会計年度末比61億75百万円減少の7,821億80百万円、純資産は、前連結会計年度末比12億45百万円減少の428億76百万円となりました。

主要勘定としては、貸出金は、消費性ローンは増加しましたが、事業性貸出および地方公共団体向け貸出の減少などによって、前連結会計年度末比81億74百万円減少の5,403億45百万円となりました。

預金については、法人預金は減少しましたが、個人預金および公金預金が増加したことから、前連結会計年度末比4億22百万円増加の7,340億76百万円となりました。

有価証券は、債券の減少などにより前連結会計年度末比75億52百万円減少の1,613億5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想は、2024年5月10日に公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
現金預け金	54,241	67,900
コールローン及び買入手形	—	—
有価証券	168,857	161,305
貸出金	548,519	540,345
外国為替	—	—
その他資産	7,006	1,970
有形固定資産	8,034	7,975
無形固定資産	485	600
退職給付に係る資産	1,318	1,326
繰延税金資産	642	1,285
支払承諾見返	2,657	2,635
貸倒引当金	△3,408	△3,162
資産の部合計	788,355	782,180
負債の部		
預金	733,653	734,076
借入金	5,000	—
外国為替	—	—
その他負債	2,087	2,004
賞与引当金	324	131
退職給付に係る負債	295	298
役員退職慰労引当金	139	100
偶発損失引当金	76	57
繰延税金負債	—	—
支払承諾	2,657	2,635
負債の部合計	744,234	739,304
純資産の部		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
利益剰余金	36,533	37,054
自己株式	△29	△29
株主資本合計	44,261	44,781
その他有価証券評価差額金	△490	△2,237
退職給付に係る調整累計額	312	296
その他の包括利益累計額合計	△178	△1,941
非支配株主持分	38	36
純資産の部合計	44,121	42,876
負債及び純資産の部合計	788,355	782,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
経常収益	3,378	3,277
資金運用収益	2,608	2,640
(うち貸出金利息)	2,341	2,360
(うち有価証券利息配当金)	239	244
役務取引等収益	339	337
その他業務収益	—	—
その他経常収益	430	299
経常費用	2,498	2,383
資金調達費用	8	55
(うち預金利息)	13	48
(コールマネー利息及び売渡手形利息)	△7	3
役務取引等費用	246	229
その他業務費用	1	0
営業経費	2,216	2,074
その他経常費用	25	24
経常利益	879	894
特別利益	—	—
固定資産処分益	—	—
特別損失	14	0
固定資産処分損	14	0
減損損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	864	893
法人税、住民税及び事業税	86	96
法人税等調整額	148	109
法人税等合計	235	206
四半期純利益	629	687
非支配株主に帰属する四半期純損益 (△)	△2	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	632	689

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	629	687
その他の包括利益	716	△1,763
その他有価証券評価差額金	718	△1,746
退職給付に係る調整額	△2	△16
四半期包括利益	1,346	△1,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,348	△1,073
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当行グループは、銀行業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	176百万円	135百万円

3. 補足情報

(1) 損益の概況

○2025年3月期 第1四半期決算概要

經常収益は前年同期比1億1百万円減少し、經常利益が前年同期比11百万円増加した結果、当四半期は前年同期比「減収・増益」の決算内容となりました。

(単位：百万円)

単体	2023/6期 (3ヶ月間)	2024/6期 (3ヶ月間)		25/3期予想 (12ヵ月間)
			2023/6期比	
1 經常収益	3,375	3,274	△101	
2 業務粗利益	2,686	2,689	3	
3 資金利益	2,600	2,585	△14	
4 役務取引等利益	88	104	16	
5 その他業務利益	△1	△0	1	
6 うち国債等債券損益(5勘定戻)	—	—	—	
7 経費(除く臨時処理分)	2,201	2,081	△119	
8 人件費	1,093	1,059	△34	
9 物件費	916	836	△80	
10 税金	190	185	△5	
11 実質業務純益(注)	485	608	123	2,030
12 コア業務純益(注)	485	608	123	2,130
13 除く投資信託解約損益	485	608	123	
14 一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—	
15 業務純益	485	608	123	2,130
16 臨時損益	406	294	△111	
17 株式等損益(3勘定戻)	190	23	△166	
18 不良債権処理損失(△) ②	19	16	△3	
19 貸出金償却	—	—	—	
20 個別貸倒引当金繰入額	—	—	—	
21 偶発損失引当金繰入額	—	—	—	
22 その他の債権売却損等	19	16	△3	
23 貸倒引当金戻入益 ③	230	245	14	
24 償却債権取立益 ④	0	3	3	
25 偶発損失引当金戻入益 ⑤	1	19	17	
26 その他臨時損益	3	19	15	
27 經常利益	891	903	11	1,770
28 特別損益	△14	△0	14	
29 固定資産処分損益	△14	△0	14	
30 減損損失	—	—	—	
31 税引前四半期純利益	876	903	26	
32 法人税・住民税及び事業税	85	96	10	
33 法人税等調整額	148	108	△39	
34 法人税等合計	234	205	△28	
35 四半期(当期)純利益	642	697	55	1,240

(ご参考)

36 与信関係費用(①+②-③-④-⑤)	△212	△251	△38
----------------------	------	------	-----

(注) 「実質業務純益」は一般貸倒引当金額を除く業務純益。

「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益(5勘定戻)を除く業務純益。

3. 補足情報

(1) 損益の概況

- 経常収益
経常収益は、貸出金利息および有価証券利息配当金は増加しましたが、役務取引等収益や株式等売却益の減少などによって、前年同期比1億1百万円減少の32億74百万円となりました。
- 経常費用
経常費用は、物件費の削減などによる営業経費の減少と、役務取引等費用の減少により、前年同期比1億12百万円減少の23億71百万円となりました。
- 経常利益
経常利益は、前年同期比11百万円増加の9億3百万円となりました。その結果、当四半期は前年同期比「減収・増益」の決算内容となりました。

単体 経常収益、経常費用の主な内訳

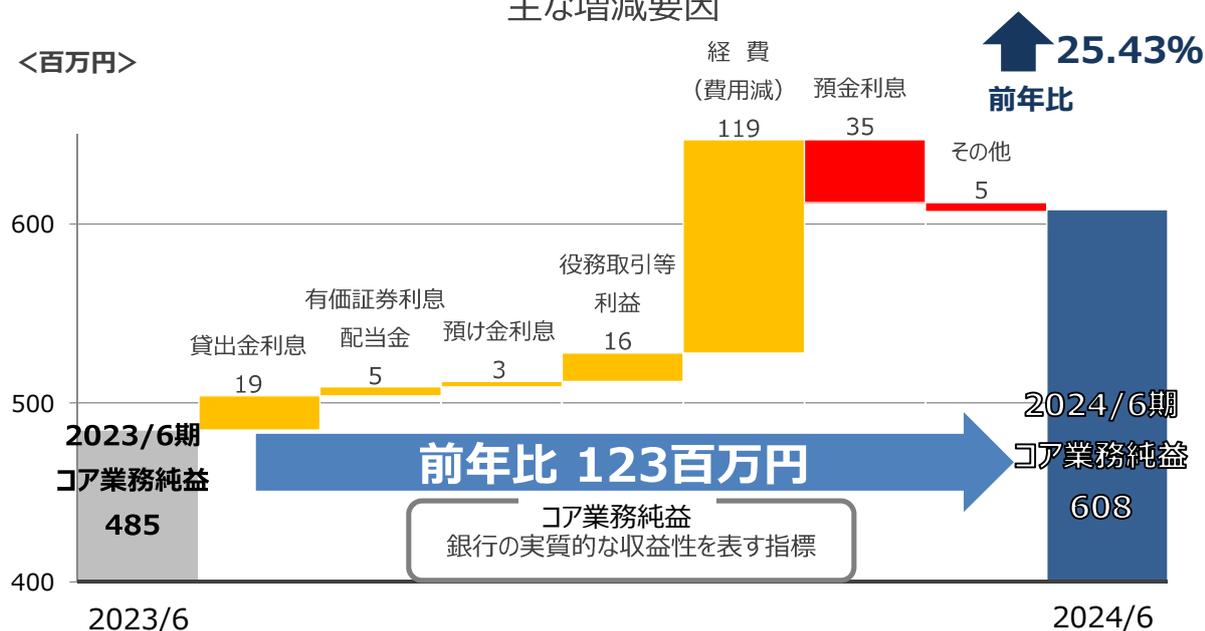
(単位：百万円)

	2024/6期	23/6期比		2024/6期	23/6期比
経常収益	3,274	△ 101	経常費用	2,371	△ 112
資金運用収益	2,640	31	資金調達費用	55	46
貸出金利息	2,360	19	預金利息	48	35
有価証券利息配当金	244	5	役務取引等費用	228	△ 17
預け金利息	28	3	その他の役務費用	199	△ 18
役務取引等収益	333	△ 1	その他業務費用	0	△ 1
受入為替手数料	102	4	営業経費	2,081	△ 119
その他の役務収益	230	△ 5	人件費	1,059	△ 34
臨時収益	300	△ 131	物件費	836	△ 80
貸倒引当金戻入益	245	14	臨時費用	5	△ 20
株式等売却益	23	△ 166	経常利益	903	11

単体 コア業務純益の前年同期比増減要因

- コア業務純益
貸出金利息や有価証券利息配当金等の増加と、経費の削減が利益を押し上げたことで、コア業務純益は前年同期比1億23百万円増加の6億8百万円となりました。
(コア業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 国債等債券損益)
(608M = 2,689M - 2,081M - 0M)

主な増減要因



3. 補足情報

(2) 預金・貸出金等の状況

① 預金

地方公共団体その他預金が減少しましたが、法人預金および個人預金が増加したことから、前年同期比28億39百万円増加の7,342億54百万円となりました。期末残高の増加率は0.38%となっております。

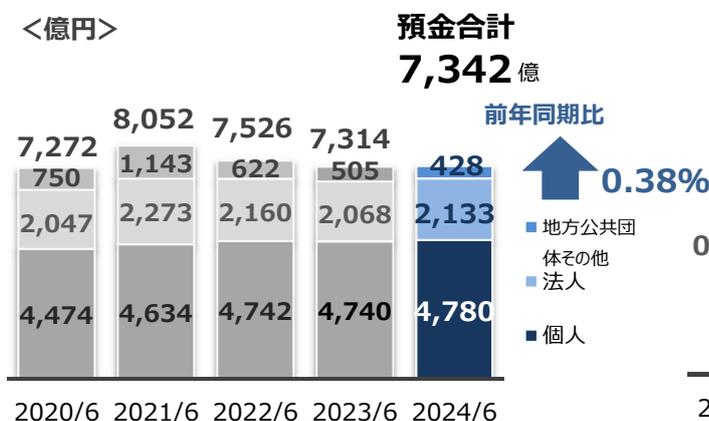
平均残高は59億48百万円減少の7,309億57百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2023/6 期末	2024/3 期末	2024/6 期末	2024/6 期末比	
				2023/6 期末比	2024/3 期末比
預金 (期末残高)	731,415	733,801	734,254	2,839	453
個人	474,020	474,421	478,055	4,035	3,634
法人	206,842	229,320	213,353	6,511	△15,967
地方公共団体その他	50,552	30,059	42,845	△7,707	12,786
預金 (平均残高)	736,905	728,732	730,957	△5,948	2,225

単体 預金 (期末残高) の推移

<億円>



単体 預金 (通期平均 利回り) の推移

前年同期比

↑ 0.019pt



② 預かり資産

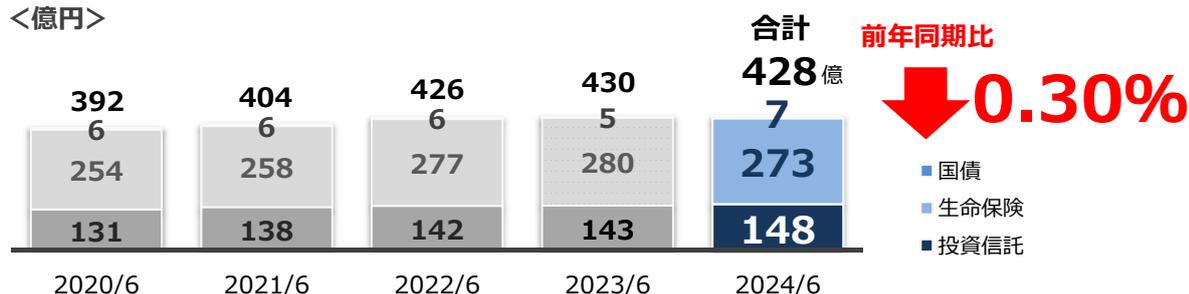
投資信託は、好調なマーケットを背景とした基準価額の上昇に伴い増加しましたが、生命保険の残高は、為替相場の影響により減少しました。その結果、預かり資産残高は、前年同期比1億30百万円減少の428億93百万円となりました。期末残高の減少率は0.30%となっております。

(単位：百万円)

単体	2023/6 期末	2024/3 期末	2024/6 期末	2024/6 期末比	
				2023/6 期末比	2024/3 期末比
預かり資産	43,023	42,329	42,893	△130	564
投資信託	14,375	14,089	14,808	433	719
生命保険	28,073	27,575	27,336	△737	△239
国債	574	663	749	175	86

単体 預かり資産 (期末残高) の推移

<億円>



3. 補足情報

(2) 預金・貸出金等の状況

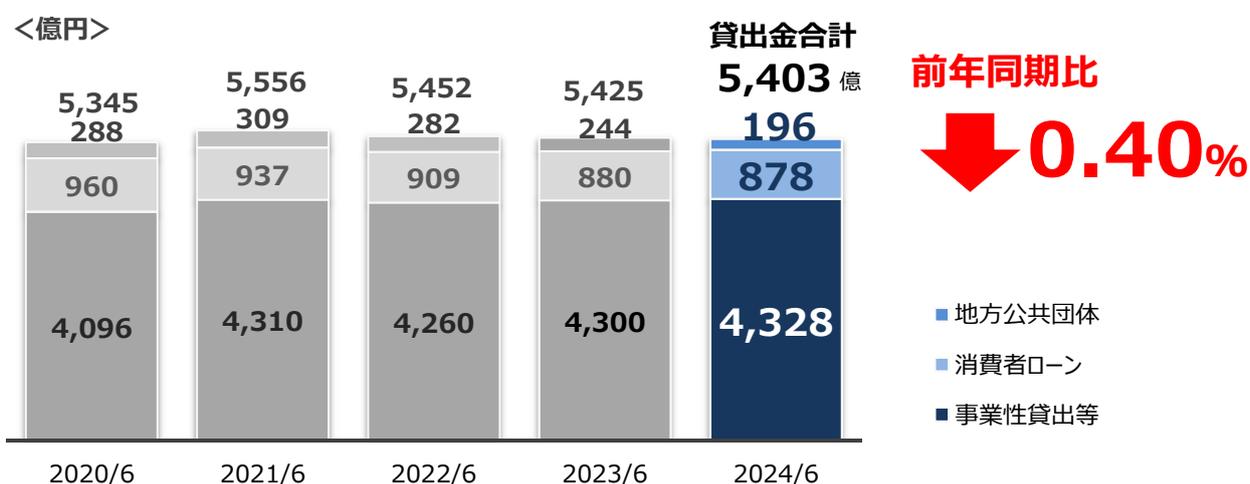
③ 貸出金

期末残高は、事業性貸出金は増加したものの、地方公共団体向け融資が減少したことなどから、前年同期比21億82百万円減少の5,403億45百万円となりました。期末残高の減少率は0.40%となっております。

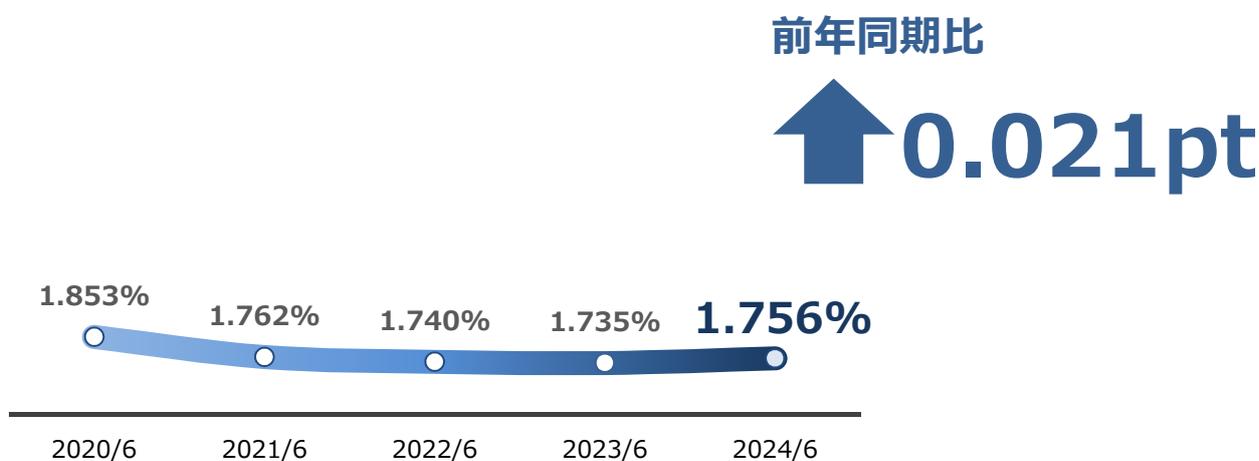
(単位：百万円)

単体	2023/6期末	2024/3期末	2024/6期末	2024/6期末比	
				2023/6期末比	2024/3期末比
貸出金（期末残高）	542,527	548,519	540,345	△2,182	△8,174
事業性貸出等	430,019	433,363	432,838	2,819	△525
消費者ローン	88,082	87,103	87,867	△215	764
住宅ローン	64,849	64,310	64,309	△540	△1
地方公共団体	24,425	28,053	19,638	△4,787	△8,415
貸出金（平均残高）	541,261	542,599	539,131	△2,130	△3,468

単体 貸出金（期末残高）の推移



単体 貸出金（通期平均 利回り）の推移



3. 補足情報

(3) 金融再生法ベースの категорияによる開示

金融再生法開示債権は、要管理債権の減少などにより、前年同期比25億75百万円減少の155億65百万円となりました。開示債権比率は前年同期比0.46ポイント減少の2.86%となりました。

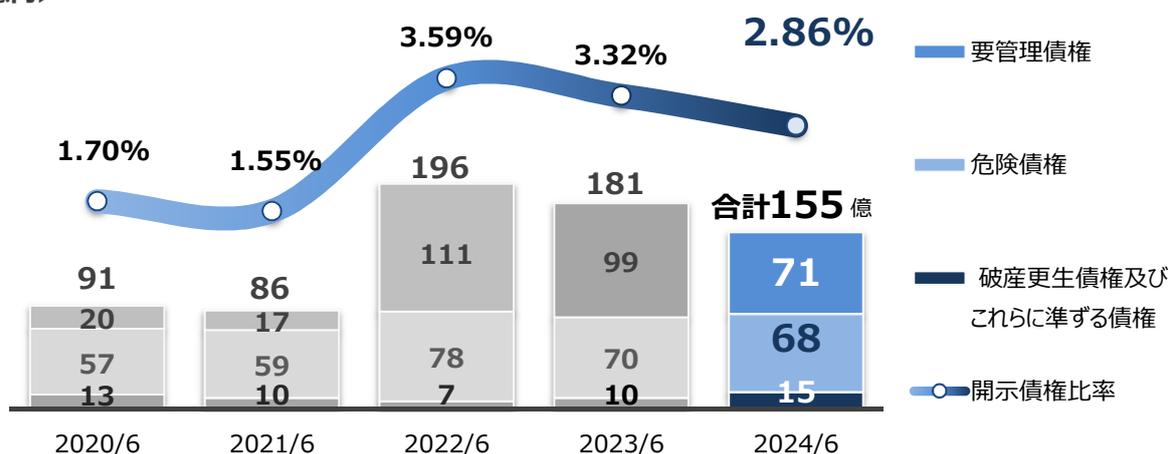
(単位：百万円)

単体	2023/6期末	2024/3期末	2024/6期末	2024/6期末	
				2023/6期末比	2024/3期末比
金融再生法開示債権	18,140	16,413	15,565	△2,575	△848
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,060	1,219	1,595	535	376
危険債権	7,090	7,093	6,823	△267	△270
要管理債権	9,989	8,100	7,147	△2,842	△953
正常債権	526,649	535,187	527,849	1,200	△7,338
総与信額	544,789	551,601	543,415	△1,374	△8,186
開示債権比率	3.32%	2.97%	2.86%	△0.46pt	△0.11pt

(注) 上記の計数は、当行の定める自己査定基準に基づき、債務者区分の判定を行った結果を「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

単体 金融再生法開示債権（期末残高）の推移

<億円>



(4) 時価のある有価証券の評価差額

(単位：百万円)

単体	2023/6期末		2024/3期末		2024/6期末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	178,614	746	166,831	△769	159,276	△3,261
株式	3,621	1,409	4,372	1,745	4,326	1,700
債券	170,286	△2,338	155,324	△4,636	147,581	△6,918
その他	4,705	1,675	7,134	2,121	7,367	1,957

(注) 1. 「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券は保有しておりません。